



# 「柏陵魂」の伝統は永遠に

## 門脇中で閉校式 74年の歴史閉じる



少子化や東日本大震災の影響による生徒数減少で、石巻中学校と統合した門脇中学校の閉校式が2月20日、同校体育館で開かれました。全校生徒112人をはじめ、保護者や来賓ら約280人が出席。昭和22年の開校以来歩んだ74年間の歴史を振り返りながら、生徒たちが今後も先輩から受け継がれてきた「柏陵魂」を発揮し、活躍するように祈念しました。

式辞を述べた市教育委員会の境直彦教育長は「門脇中学校は3月31日で閉校しますが、今日まで築いてきた歴史と培われた尊い精神は、地域の方々の心のよりどころとして末永く引き継がれていくものと信じています」と期待しました。

境教育長に校旗を返納した千葉正人校長は「閉校は惜別の極みですが、これまで多くの先輩がどんな困難にも屈することなく、志高くまい進してきた『柏陵魂』を1、2年生は石巻中学校で、3年生は進学先の高校生活で発揮してください」と、声を詰まらせながら生徒を励ましました。

74年の歴史を振り返るスライドと全校生徒による空手の演武の動画が上映された後、3年生35人が感謝の思いを込めて空手の演武を生で披露し、会場を沸かせました。生徒を代表し、小泉侑也さん(3年)が「門中での思い出を胸に進学先でも日々頑張ります」と感謝の気持ちを込めてあいさつしました。

式終了後には、校庭の南側で閉校記念碑の除幕式がありました。記念碑は表面に校歌、裏面に学校の沿革が刻まれています。



図 教育総務課(内線5010)

# エスディーゼース SDGsで未来を変えよう!



図 SDGs地域戦略推進室(内線4223)

今回は、未来をより良く変えるための17の目標「SDGs(持続可能な開発目標)」のうち、目標16と目標17についてご紹介します。

### 16 平和と公正をすべての人に



## 目標16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

#### ターゲットの主な内容

- あらゆる場所で、暴力や暴力による死亡率を大幅に減らす。
- 子どもに対する虐待、搾取、人身取引、暴力、拷問を撲滅する。

#### 市の取り組み例

- 要保護児童対策事業  
子どもの安全確認を第一に、児童相談所および警察などの関係機関と連携しながら、要保護児童などに対する適切な支援を行います。  
ほかにも…  
虐待防止センター事業、青少年健全育成事業 など

紛争やテロリズム、組織犯罪や暴行、DV、虐待など、世の中にはさまざまな暴力があります。世界では、今、この瞬間もどこかで紛争や戦争などの争いごとが起きています。紛争のある国や地域で暮らす子どもたちは約4億2,000万人。紛争や迫害などで住む場所を追われた、世界の難民や避難民は約7,000万人にのぼります。

日本でも詐欺犯罪の巧妙化や、暴力・虐待の問題も後を絶ちません。誰もが安心して暮らすためには、暴力や虐待のない平和な社会づくり、法によって守られる公正な社会づくりが求められます。

#### わたしたちにできること

- 暴力や虐待をなくすために何ができるか考えてみましょう
- 犯罪を未然に防ぐため、日頃から防犯対策を心掛けましょう



争いや暴力のない  
平和な世の中にしよう

#### わたしたちにできること

### 目標達成のために みんなで力を合わせよう

- 同じ目標達成に取り組む人たちと、協力することでより効果的な取り組みができないか話し合ってみましょう



## 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGsに関わる課題は、経済・社会・環境のさまざまな分野に及びます。そして、それらは必ずつながり合っています。一つの課題解決に取り組むときには、それに関連する他の課題解決も一緒にできないかを考えていく必要があります。1人で取り組むのではなく、企業や研究者、市民団体、地域、学校、家庭など、一人一人がSDGsの担い手としてパートナーシップを組み、積極的に関心を持ち、共に考え、行動を起こすことで、地球が抱える複雑で難しい問題を解決していくこととなります。

17番目のこの目標は、他の全ての目標に関わっています。

#### 市の取り組み例

- 地域互助活動促進事業  
市民主体の団体が身近な地域において行う日常生活上の助け合い活動を支援します。  
ほかにも…  
・コミュニティ・カーシェアリング事業、石巻地域連携コンソーシアムなど

#### ターゲットの主な内容

- ・持続可能な開発のための政策の整合性を強化する。
- ・持続可能な開発目標を達成するために、全ての国が協力し合う。

